

## 2015年度助成団体の活動を報告します

びわこ市民活動応援基金助成

### 虎御前山古墳と 中世城郭保全顕彰会

虎御前山は、JR 虎姫駅と JR 河毛駅の間にある小高い山です。豊かな自然とともに、古墳群と信長の山城跡や秀吉の陣地跡などの遺跡がのこっています。

この環境を保全するために、地域住民とともに下草刈りと、登山道の整備をしています。史跡顕彰としては、毎週火曜日に古墳の測量をしています。そして、看板を立て、現地見学会を実施して、多くの人に史跡のことを知っていただく機会を提供しています。2015年8月30日には史跡見学会と巣箱かけが行われ、約40人が参加しました。古墳研究者の丸山竜平氏と城郭研究者の長谷川博美氏による山中での講演もあり、お昼は美味しいカレーをいただきました。

また、地元小学生の里山体験として、四季の観察・竹伐り・竹細工・学習会などもおこなっています。



ナカザワNEOフレンドシップ基金助成

### ワールドアミーゴクラブ

近江八幡市には、たくさんの外国にルーツをもつ子どもたちが居住しています。課題も多くありますが日本語指導や学習指導、そして居場所づくりだけでも保障したいという想いで設立されました。

定期的な学習支援活動「アミーゴ教室」を毎週土曜日に、そして週に2回の放課後教室「ほうかごほっこりアミーゴ教室」を通して居場所づくりをおこなっています。また、保護者や子どもの相談をうけています。さらに、今年度は「アンネフランク展」の見学にも出かけました。地域で理解していただける啓発活動もおこなっています。



課題としては、放課後支援の場所がわかりにくいので、来年度からは、スタッフが学校に出向いていくような出前クラスを検討しています。また、スタッフの確保が難しいのも悩みです。

# 2015 助成団体の活動

ナカザワNEOフレンドシップ基金助成

## 日和

外国人児童に対する学習支援活動（日本語・学校教科の指導）やその家族との交流イベントを学生が中心となり開催しています。



日本語力や学校制度の違いから、児童たちが日本の学校生活や勉学で困難に直面したり、その保護者が高校受験などの制度を把握できないことがあります。そのような環境では、子どもや家族が地域で孤立することも考えられます。そこで、若い大学生・大学院生が子どもに近い目線で支援を行い、これらのハンデや問題の解決を支援しています。

具体的な活動としては、毎週土曜日に大津市瀬田公民館で学習支援教室を開催し、日本語・教科の指導や、子ども・保護者への教育相談などの支援をおこなっています。また、部活動や、保護者の送迎の都合上、教室に参加していない（できない）子どもやその家族とも連絡をとり、近況の把握に努めるなどの教室外でのサポートをおこなっています。交流イベントとしては、2015年5月2日に新年度交流会、11月7日に高校見学会が実施されました。

笑顔あふれるコープしが基金助成

## NPO 法人

## 東近江スポーツクラブ楽苦備

運動の苦手な子どもや高齢者も楽しめる「タグラグビー」を通じて、三世代交流コミュニティスポーツの輪づくりをおこなっています。



写真

<http://www.shigahochi.co.jp/image/57b156cf1e0fc917ac99e40600a6d066.jpeg> より

毎週金曜日の夜、滋賀学園中学・高等学校体育館で、小学生のタグラグビー教室を開催しています。各週土曜日の夜は、人工芝グラウンドでミニ・タグラグビー交流会、毎週日曜日は天然芝グラウンドでミニ・タグラグビー教室を開催しています。2015年4月25日と7月20日と9月26日は、三世代交流のイベントを開催しました。その他にも、心のケアやメンタルトレーニング、小学校体育科授業出前指導、発達障がいをもった子どもも参加できる「しっぽ取りゲーム」などに取り組んでいます。

## 2015 助成団体の活動

積水化成品基金助成

### 特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会

自然を大切に子ども達の育成と、里山づくりを市民に広めること、そして保全活動を継続し元気な里山の維持を目的に活動しています。

今年度は、園児や小学生、自治振興課による小学生とその家族、スポーツクラブの子どもたちを里山に迎え、小枝集めや落ち葉かきや薪運びなどの保全活動を会員と共におこないました。そして、五感を使った観察会、クイズ、サツマイモの収穫や焼き芋づくりもしました。



また、寄付者である積水化成品社員と会員による活動にも取り組んでいます。社員17名（内新入社員15名）参加により、2015年4月4日に遊歩道の散策や施設や遊具の見学、パンやピザ焼き、原木に椎茸の駒菌打ち、間伐材おろしなどをおこない、みんなで昼食を一緒に楽しみました。11月3日には、社員7名とその家族1名と会員の参加で、遊歩道を歩きながら里山を散策し、小枝集めや落ち葉かき、魚釣りや林間遊具遊びや火おこしを体験しました。お昼は、

奥戸さんで炊いた松茸ごはんと芋煮を味わいました。

びわこ市民活動応援基金助成

### 子育てサークル 「CHEERS STATION」

子育て中のお母さんが悩みを一人で抱え込まないよう、気軽に集え、交流できる居場所作りをしてきました。

毎週金曜日開催の未就園児親子広場「CHEERS ROOM」、毎月第1金曜日開催のミニ手作り市「CHEERS SHOP」、毎月1回開催の甲賀市こども応援課との協働事業「TUNAGARU（つながる）会」、同じく毎月1回開催の母親の就労起業応援事業「KIRAMEKU（きらめく）会」などの活動を実施しています。

今年度は、パンフレットの作成やイベント情報のリニューアルをおこない、PR力を強化しました。そして、事業の充実と、活気あふれる親子が集える居場所づくりを進めています。



## 2015 助成団体の活動

笑顔あふれるコープしが基金助成

### 特定非営利活動法人 青山まちづくりネットワーク

毎週火曜日の午前中に、青山公民館で「脳若返りの会」の活動をしています。内容は、2分程度のフリートーク、音楽に合わせての目や口の運動、手遊び、思い出クイズ、コグニサイズなどです。脳の活性化に良いとされていることを、飽きずに、楽しく、長く続けてもらえるよう、毎回内容に変化をつける工夫がされています。そして最後には、必ず笑って帰っていただけるよう、じゃんけんリボン取りゲーム、シーツ玉入れ、バランスゲームなどお楽しみで締めくくります。毎回、8～10人の参加があります。



11月3日には、牧迫飛雄馬氏（国立長寿医療研究センター）を迎えて認知症の予防とコグニサイズの学習会をおこないました。

ナカザワ NEO フレンドシップ基金助成

### 湖南省国際協会

湖南省では、企業の技能実習制度活用によりインドネシア住民が増えています。当協会は、地域企業と住民向けにインドネシア語と文化を学ぶ語学講座を開催しています。

講座は、11月と12月の日曜日に6回開催され、講師は日本語能力検定2級の研修生です。お知らせは、地域企業へチラシを送付し、湖南省の「広報こなん」でもとりあげていただきました。最終回には交流会をもち、講座受講生と、協会の日本語教室に通うインドネシア住民と、研修制度を活用されている地域企業も参加しました。

この活動を通じて、互いの語学の学びを実践し、活動を広げることで、湖南省でできる地域住民とアジアをつなげる架け橋を目指しています。



### お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442、e-mail:office@ohmi-net.com

